

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月11日
20時37分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00950	中央図書館施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10955	01	10	05	04	02	01	01	中央図書館施設管理事業（図書館費）
所属長	宮東 里花				担当者（内線）池田 道雄（741・27）				
根拠法令等	図書館法 吹田市立図書館条例								
事業開始年度	昭和46年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	中央図書館		
目標	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持		
結果	市民が施設を安全に快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。		
事業概要	中央図書館の施設の維持と利用者の安全確保のため、メンテナンス等を行い適切な管理運営を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	総合建物管理（株）他
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	建物警備、清掃、機械設備保守
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	37,299	32,543	60,086	58,465	35,996
人件費職員数(人)	1.10	1.10	1.16	1.16	1.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	8,987	8,690	9,341	9,075	9,534
総事業費(A+B)	46,286	41,233	69,427	67,540	45,530
特定財源(C)	804	23	1,731	1,382	24
国	0	0	1,707	1,361	0
府	0	0	0	0	0
その他	804	23	24	21	24
市負担(D)	45,482	41,210	67,696	66,158	45,506
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	45,482	41,210	67,696	66,158	45,506
財源計(C+D)	46,286	41,233	69,427	67,540	45,530

所属	中央図書館
事務事業番号	00950

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数（貸出利用者数）	人	目標値	163,488.00	162,702.00	162,702.00
			実績値	78,788.00	77,736.00	
			達成度(%)	48.20	47.80	
目標値の積算方法	ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.52	0.87	
			一般財源(千円)	0.52	0.85	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出点数	点	目標値	653,952.00	650,808.00	650,808.00
			実績値	395,205.00	385,139.00	
			達成度(%)	60.40	59.20	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.10	0.18	
			一般財源(千円)	0.10	0.17	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適切である。市民が施設を安全かつ快適に利用するための維持管理にかかる費用であるため。</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。吹田市の図書館として最初に建設されてから46年が経過し、その間に中央館として貴重な地域資料をはじめとした文化的価値のある資料の保存機能を担っている。現在では中央図書館の他に6つの地域館も建設されていて、片山地域の図書館として役割も果たしている。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため継続すべきである。しかし施設の老朽化をはじめ、耐震化への対応が喫緊の課題となっており、耐震補強工事及び改修工事による再整備が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	中央図書館施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00950				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00950
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

中央図書館は、吹田市の図書館の中央館的機能を有しており、行事、講座等に対応できる集会室とともに、資料の保存機能として書庫を備えている。平成28年度には旧食堂を談話室として市民の利用に供し、休憩や交流の場として利用されている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>図書館が建設されてから46年を過ぎており、その間、開館日の増加などによりメンテナンスにかかる費用が増加してきた。また、施設面で経年劣化及びバリアフリーやITなどの時代に即した対応ができなくなっていることから、市民の快適な利用を阻害している。耐震の面でも、建物や設備の大規模改修の必要が生じてきている。平成28年度には北側壁面塗装の大規模修繕を行い、維持管理に努めたが、空調の不具合がたび重なった。平成29年度に耐震診断を実施した結果、大地震(震度6強から7程度)発生時には倒壊または崩壊の危険性が高いことが判明したため、耐震補強を含む必要な改修を行い、施設の継続を図る必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月12日
14時04分40秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00951	千里図書館施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10956	01	10	05	04	02	02	01	千里図書館施設管理事業（図書館費）
所属長	宮東 里花			担当者（内線）森 司朗（244・1302）					
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例								
事業開始年度	昭和53年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	千里図書館及び千里図書館北千里分室		
目標	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持		
結果	市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。		
事業概要	千里図書館及び千里図書館北千里分室の施設の維持と利用者の安全確保のためのメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 双葉化学商会
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	北千里分室の機械警備他
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	428	334	392	349	387
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,565	1,589
総事業費(A+B)	2,062	1,914	2,003	1,914	1,976
特定財源(C)	0	0	1	0	1
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	1
市負担(D)	2,062	1,914	2,002	1,914	1,975
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,062	1,914	2,002	1,914	1,975
財源計(C+D)	2,062	1,914	2,003	1,914	1,976

所属	中央図書館
事務事業番号	00951

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数(貸出利用者数)	人	目標値	200,550.00	199,896.00	199,896.00
			実績値	223,401.00	222,236.00	
			達成度(%)	111.40	111.20	
目標値の積算方法	ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.01	0.01	
			一般財源(千円)	0.01	0.01	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出点数	点	目標値	802,200.00	799,584.00	799,584.00
			実績値	762,496.00	769,413.00	
			達成度(%)	95.10	96.20	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適切である。千里ニュータウン地域の図書館サービスを継続する上で今後も事業費を維持していく必要がある。</p> <p>【指標数値の評価】延利用者数は目標値を達成している。貸出点数は平成28年度から上昇している。以上指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。千里図書館は、千里ニュータウンプラザへの移設により利用者は快適に利用できている。一方、北千里分室は手狭で老朽化しており、千里ニュータウン北部の図書館として施設の拡充の検討が必要である。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里図書館施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00951				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00951
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里図書館は千里ニュータウン地域の図書館として、施設利用は高い水準で推移している。千里ニュータウンプラザへの移設により利用者は快適に利用できている。図書館施設の管理・補修は「千里ニュータウンプラザ施設管理事業」も利用し、また共用部分の利用・管理は、千里出張所等の部局や施設と連絡を取り合って効率的に行っている。</p> <p>北千里分室は、閲覧室・事務室ともに手狭であり、利用要求に見合ったサービスができていない状況であり、千里ニュータウン北部の図書館として、施設の拡充が必要である。施設の管理は北千里公民館と連携・協力して行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月15日
16時34分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00952	千里ニュータウンプラザ施設管理事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業	10957	01	10	05
所属長	宮東 里花	04	02	02
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例			
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	千里図書館		
目標	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持		
結果	市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。		
事業概要	千里図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためのメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	PFIにより実施	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	72,737	71,622	69,490	68,808	70,715
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	783	795
総事業費(A+B)	73,554	72,412	70,296	69,591	71,510
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	73,554	72,412	70,296	69,591	71,510
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	73,554	72,412	70,296	69,591	71,510
財源計(C+D)	73,554	72,412	70,296	69,591	71,510

所属	中央図書館
事務事業番号	00952

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数(貸出利用者数)	人	目標値	200,550.00	199,896.00	199,896.00
			実績値	223,401.00	222,236.00	
			達成度(%)	111.40	111.20	
目標値の積算方法	ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.32	0.31	
			一般財源(千円)	0.32	0.31	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出点数	点	目標値	802,200.00	799,584.00	799,584.00
			実績値	762,496.00	769,413.00	
			達成度(%)	95.10	96.20	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度までは10点。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.09	0.09	
			一般財源(千円)	0.09	0.09	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】事業費は適切である。(理由:管理経費はPFI事業で一定しているため。) 【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため継続すべきである。

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00952				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	20	④利用者が対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	95	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00952
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里図書館は千里ニュータウン地域の図書館として、施設利用は高い水準で推移している。管理経費についてはPFI事業のため一定している。施設環境は快適で、一層の利用が見込まれる。定期的に連絡会が開催され施設管理の情報共有を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月11日
20時53分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00953	さんくす図書館施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10958	01	10	05	04	02	03	01	さんくす図書館施設管理事業（図書館費）
所属長	宮東 里花				担当者（内線）森 ほだか（745・11）				
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例								
事業開始年度	平成5年度	直近の改正			平成24年度				
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	さんくす図書館		
目標	施設の適切な管理による良好な施設管理の維持		
結果	市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。		
事業概要	さんくす図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためメンテナンスを行い、適切な管理事業を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	総合建物管理（株）他
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	清掃他
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	50,406	50,088	49,752	49,785	49,778
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	3,912	3,973
総事業費(A+B)	54,491	54,038	53,778	53,697	53,751
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	54,491	54,038	53,778	53,697	53,751
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	54,491	54,038	53,778	53,697	53,751
財源計(C+D)	54,491	54,038	53,778	53,697	53,751

所属	中央図書館
事務事業番号	00953

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数（貸出利用者数）	人	目標値	104,736.00	104,358.00	104,358.00
			実績値	103,845.00	101,644.00	
			達成度(%)	99.10	97.40	
目標値の積算方法	ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.52	0.53	
			一般財源(千円)	0.52	0.53	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出点数	点	目標値	418,944.00	417,432.00	417,432.00
			実績値	360,138.00	356,750.00	
			達成度(%)	86.00	85.50	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.15	0.15	
			一般財源(千円)	0.15	0.15	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適正である。施設管理経費の大半は建物の賃借に係る経費になっていて、平成27年度は共益費の値上がりにより、より増加したが、その後事業費総額はほぼ横ばいである。</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の延べ利用者数・貸出点数とも目標値には達成できていないが、実績値はほぼ横ばいであることを踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するために、活動手段や方法を改善する必要がある。さんくす図書館は、JR以南の図書館施設として重要な役割を果たしており、平成26年度からは大阪市、平成29年7月からは北摂7市3町の広域利用も始まり、JR沿線地域の利用者も増えつつあり、さらに吹田の商業施設の利用につながっていくよう努めていく。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の評価や指標数値の評価を踏まえると、目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、具体的な方法の検討を行いつつ継続することが妥当である。また、併せて近隣施設と連携し、図書館利用の促進に努めていく。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	さんくす図書館施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00953				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	78	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00953
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>駅ビルに入居する施設であるため、事業費の大半は建物の賃借にかかる経費となっている。平成26年7月から共益費が改定され、また平成28年2月からは共益部分にICゲートを設置したためその使用料が発生した。そのため事業費は増加している。さんくす図書館の供用開始は平成5年からだが、建物自体は昭和54年の建物であり、老朽化が進んでいる。耐震補強改修工事が平成26年5月に完了し、安全面の確保は図られた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月11日
21時02分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00954	江坂図書館施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10959	01	10	05	04	02	04	01	江坂図書館施設管理事業（図書館費）
所属長	宮東 里花				担当者（内線）井手 庸子（746・11）				
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例								
事業開始年度	平成8年度	直近の改正			平成24年度				
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	江坂図書館			
目標	施設の適切な管理、メンテナンスによる良好な環境の維持			
結果	利用者が施設を快適に利用できる。また、施設の安全な長期利用を図る			
事業概要	江坂図書館の施設の維持、利用者の安全確保のためのメンテナンスの実施等、適切な管理運営を行う。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) FUDO CORPORATION	
		委託先②	(株) ビケンテクノ	
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	清掃他	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,025	4,087	4,300	4,444	4,008
人件費職員数(人)	0.54	0.54	0.54	0.54	0.54
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	4,412	4,266	4,349	4,225	4,291
総事業費(A+B)	9,437	8,353	8,649	8,669	8,299
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	9,437	8,353	8,649	8,669	8,299
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,437	8,353	8,649	8,669	8,299
財源計(C+D)	9,437	8,353	8,649	8,669	8,299

所属	中央図書館
事務事業番号	00954

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数（貸出利用者数）	人	目標値	195,951.00	198,882.00	198,882.00
			実績値	113,181.00	115,691.00	
			達成度(%)	57.80	58.20	
目標値の積算方法	ブロック別人口×50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.07	0.07	
			一般財源(千円)	0.07	0.07	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出点数	点	目標値	783,804.00	795,528.00	795,528.00
			実績値	408,760.00	417,610.00	
			達成度(%)	52.20	52.50	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標、平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.02	0.02	
			一般財源(千円)	0.02	0.02	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。ただ築22年が経過し設備の老朽化も進んでおり、実態として修繕が頻繁に必要になっている。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。具体的にはより魅力的な本棚づくりを心がけ、配置などを工夫していく。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	江坂図書館施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00954				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00954
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>築後22年が経過し設備等の老朽化が進んでおり、便所等の修繕が頻発している。施設が狭隘でゆったりとした読書環境が望まれている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月12日
11時52分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00955	千里山・佐井寺図書館施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10960	01	10	05	04	02	05	01	千里山・佐井寺図書館施設管理事業（図書館費）
所属長	宮東 里花				担当者（内線）廣本 史子（747・310）				
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例								
事業開始年度	平成16年度	直近の改正			平成24年度				
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	千里山・佐井寺図書館		
目標	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持		
結果	市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。		
事業概要	千里山・佐井寺図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	総合建物管理（株）
		委託先②	（株）FUDO CORPORATION
		委託先③	
		主な委託内容	警備・清掃
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	39,987	35,980	31,372	30,723	32,244
人件費職員数(人)	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	7,353	7,110	7,247	7,041	7,151
総事業費(A+B)	47,340	43,090	38,619	37,764	39,395
特定財源(C)	31	34	31	33	31
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	31	34	31	33	31
市負担(D)	47,309	43,056	38,588	37,731	39,364
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	47,309	43,056	38,588	37,731	39,364
財源計(C+D)	47,340	43,090	38,619	37,764	39,395

所属	中央図書館
事務事業番号	00955

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数（貸出利用者数）	人	目標値	192,351.00	192,684.00	192,684.00
			実績値	121,671.00	119,046.00	
			達成度(%)	63.30	61.80	
目標値の積算方法	ブロック別人口×50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.35	0.32	
			一般財源(千円)	0.35	0.32	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出点数	点	目標値	769,404.00	770,736.00	770,736.00
			実績値	516,741.00	502,759.00	
			達成度(%)	67.20	65.20	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.08	0.08	
			一般財源(千円)	0.08	0.08	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、増額を検討する必要がある。(委託業務に係る費用が人件費の値上がりにより不足している。図書館全体の予算から補てんする状況にあるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 ブロック別人口に対する貸出利用の事業成果は、おおむね妥当だが改善の余地がある。</p> <p>【今後の方向性】 施設を長期的に活かすため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	千里山・佐井寺図書館	事業名	千里山・佐井寺図書館施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00955				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	千里山・佐井寺図書館	事務事業番号	00955
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(5)持続可能性 築13年を経て、様々な修繕が必要になっている。特に防災・防犯にかかわる設備の修繕・更新は喫緊の課題である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月27日
17時56分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00956	山田駅前図書館施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10961	01	10	05	04	02	06	01	山田駅前図書館施設管理事業（図書館費）
所属長	宮東 里花				担当者（内線）牧瀬 智子（748・4101）				
根拠法令等	図書館法、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例、吹田市立図書館条例								
事業開始年度	平成22年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	山田駅前図書館及び山田駅前図書館山田分室		
目標	施設の適正な管理による良好な施設環境の維持		
結果	市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。		
事業概要	山田駅前図書館及び山田分室の施設の維持と利用者の安全確保のため、メンテナンスを行い、適切な管理運営を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	東芝エレベーター（株）関西支社他
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	昇降機保守
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	山田駅前図書館が入っている夢つながり未来館は指定管理を行っている。	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	16,795	15,643	16,035	16,043	16,649
人件費職員数(人)	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,128	5,925	6,039	6,039	5,959
総事業費(A+B)	22,923	21,568	22,074	22,082	22,608
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	22,923	21,568	22,074	22,082	22,608
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	22,923	21,568	22,074	22,082	22,608
財源計(C+D)	22,923	21,568	22,074	22,082	22,608

所属	中央図書館
事務事業番号	00956

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数（貸出利用者数）	人	目標値	127,566.00	126,342.00	126,342.00
			実績値	179,855.00	175,604.00	
			達成度(%)	141.00	139.00	
目標値の積算方法	ブロック別人口×50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.12	0.13	
			一般財源(千円)	0.12	0.13	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出点数	点	目標値	510,264.00	505,368.00	505,368.00
			実績値	707,954.00	695,566.00	
			達成度(%)	138.70	137.60	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.03	0.03	
			一般財源(千円)	0.03	0.03	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。山田地域の図書館サービスの拠点として、今後も事業費を維持する必要がある。</p> <p>【指標数値の評価】 延利用者数・貸出点数とも、目標は達成しているが、減少してきている。</p> <p>【今後の方向性】 山田駅前図書館は、開館から7年がたち、利用が落ち着いてきている。地下2階にあってまだ図書館の存在を知らない、潜在的利用者も多いと思われる。ゆいびあ内での掲示物、ちらし等で、市民へのさらなるPRを行い、利用増を図っていく。</p> <p>山田分室のエレベーターは、2016年の検査で建築基準法の「既存不適格」となり、また2024年3月には部品の保存年限が切れることとなったので対策が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	山田駅前図書館施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00956				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	中央図書館	事務事業番号	00956
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>山田駅前図書館は山田地域の図書館施設として、夢つながり未来館の他の施設と連携しながら運営を行い、開館当初より多くの利用がある。また、山田分室は、高齢者や児童を対象に地域と密着した運営を行っており、図書館として地域から必要とされている。</p> <p>施設管理においては、山田駅前図書館は、夢つながり未来館の青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザと一体化した管理を行っている。平成26年度から、より効率的な業務を行い市民サービスの向上を図るべく、施設管理業務について指定管理者制度の導入を実施している。</p> <p>山田分室のエレベーターは、平成21年に行われた建築基準法施行規則及び建築基準法施行令の改正により、平成28年の検査において既存不適合と判断された。また部品の供給期限が2024年3月末となったため、対策が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月12日
12時07分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00957	千里丘図書館施設管理事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業	10962	01 10 05 04 02 07 01	千里丘図書館施設管理事業（図書館費）	
所属長	宮東 里花		担当者（内線）堀原文（243・12）	
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例			
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	千里丘図書館		
目標	施設の適切な管理による良好な施設環境の維持		
結果	市民が施設を快適に利用できる。また、施設の長期使用を図る。		
事業概要	千里丘図書館の施設の維持と利用者の安全確保のためメンテナンス等を行い、適切な管理運営を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪美装工業（株）
		委託先②	（株）ピケンテクノ他
		委託先③	
		主な委託内容	清掃・機械警備他
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	6,597	5,909	5,980	5,944	6,224
人件費職員数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	5,719	5,530	5,637	5,477	5,562
総事業費(A+B)	12,316	11,439	11,617	11,421	11,786
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	12,316	11,439	11,617	11,421	11,786
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,316	11,439	11,617	11,421	11,786
財源計(C+D)	12,316	11,439	11,617	11,421	11,786

所属	中央図書館
事務事業番号	00957

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数（貸出利用者数）	人	目標値	123,924.00	125,352.00	125,352.00
			実績値	109,221.00	107,164.00	
			達成度(%)	88.10	85.50	
目標値の積算方法	ブロック別人口の50%×年間利用回数6回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.10	0.11	
			一般財源(千円)	0.10	0.11	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出点数	点	目標値	495,696.00	501,408.00	501,408.00
			実績値	488,878.00	479,423.00	
			達成度(%)	98.60	95.60	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.02	0.02	
			一般財源(千円)	0.02	0.02	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。 具体的には、図書館に来ること自体が楽しみと感じてもらえるような快適な空間作りを工夫する。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里丘図書館施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00957				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	中央図書館	事務事業番号	00957
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里丘地域の図書館として、地域から待ち望まれた図書館であり、平成24年度の開館から多くの利用をいただいている。共用開始より6年目となり、備品や設備に修繕が発生している。緑化ボランティアによる屋上緑地の維持や駐車場の有料化も継続して行い経費の負担を軽減している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月12日
12時12分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00958	中央図書館運営事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり			
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進			
予算事業	10963	01	10	05 04 03 01 01	中央図書館運営事業（図書館費）
所属長	宮東 里花		担当者（内線）桑名 裕子（2967）		
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例				
事業開始年度	昭和46年度	直近の改正	平成24年度		
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市在住、在勤、在学の人		
目標	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。		
結果	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。		
事業概要	中央図書館及び自動車文庫1台で事業を実施。年末年始（12月28日～1月4日）を除き、毎日午前10時から午後6時まで（木・金曜日は午後8時まで）開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には、児童サービス、ヤングアダルト（中高生向け）サービスなどを行う。自動車文庫は、図書館利用に不便な地域である27か所に1か月に1回巡回して貸出する他、吹田市内の地域・家庭文庫、読書会、幼稚園、保育所、小学校、留守家庭児童育成室、中学校、老人福祉施設などに団体貸出を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	北港観光バス（株）
		委託先②	ヤマツーナッジ（株）
		委託先③	
	主な委託内容		自動車文庫運転・図書資料等搬送
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	217,791	209,678	220,652	208,358	217,426
人件費職員数(人)	8.00	7.00	8.00	8.00	9.24
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	65,360	55,300	64,416	62,584	73,412
総事業費(A+B)	283,151	264,978	285,068	270,942	290,838
特定財源(C)	559	390	470	281	350
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	559	390	470	281	350
市負担(D)	282,592	264,588	284,598	270,661	290,488
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	282,592	264,588	284,598	270,661	290,488
財源計(C+D)	283,151	264,978	285,068	270,942	290,838

所属	中央図書館
事務事業番号	00958

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	全館の蔵書冊数	冊	目標値	1,000,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00
			実績値	1,042,713.00	1,056,096.00	
			達成度(%)	104.30	105.60	
目標値の積算方法	人口30万以上の都市貸出数上位10%の市町村の蔵書冊数平均値の近似値である100万冊	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.25	0.26	
			一般財源(千円)	0.25	0.26	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	蔵書新鮮度	%	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	8.28	7.79	
			達成度(%)	82.80	77.90	
目標値の積算方法	受入数÷開架冊数×100	単位当たりコスト	総事業費(千円)	32,002.17	34,780.74	
			一般財源(千円)	31,955.07	34,744.67	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	点	目標値	653,952.00	650,808.00	650,808.00
			実績値	356,018.00	345,534.00	
			達成度(%)	54.40	53.10	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.74	0.78	
			一般財源(千円)	0.74	0.78	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	レファレンス(相談)件数 ※平成29年度より件数のカウント方法を変更した	件	目標値	3,483.00	3,983.00	3,353.00
			実績値	3,983.00	3,353.00	
			達成度(%)	114.40	84.20	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	66.53	80.81	
			一般財源(千円)	66.43	80.72	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	図書館全体のサービスの統括、計画、立案	目標	図書館利用不便地域への図書館整備及び中央図書館再整備
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。片山・岸部地域の地域館としての役割だけでなく本市の6つの地域館及び2つの分室の中心となる図書館として、サービスの統括と企画・立案部分を担う上で今後も事業費を維持していく必要がある。</p> <p>【指標数値の評価】 レファレンス(相談件数)は、平成29年度より件数の記録ルールを変更したため平成28年度より減少している。指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後事業成果の目標を達成するためには、蔵書の新鮮度の改善により貸出数やレファレンス件数を増やす取組みが必要である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析も踏まえると、目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、実施方法の検討などの改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	中央図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00958				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

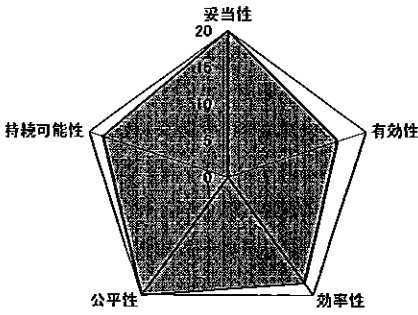
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00958
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「吹田市子ども読書活動推進計画(改訂)」及び「吹田市立図書館基本構想」に基づき、子供に本を読む喜びを知ってもらうよう、子供の読書環境を整備するため小中学校を中心に連携を進めている。団体貸出、図書館見学、読書相談や調べもの学習への対応、職場体験などいろいろなサービスを行っている。読書啓発を目的とした学校訪問(ごりまる学校訪問)、もうよんだかなセット(年度毎に作成している司書が推薦する新刊を案内した冊子に掲載された図書を学年別にセットにしたもの)の学期ごとの貸出や、図書館のホームページに図書館の取り組みを紹介する学校支援のページの作成、自動車文庫による団体貸出の配達(ごりまる便)を平成26年度には月1回から2回に増やすなど、学校にとって図書館を利用しやすい環境を整え、学校支援を続けている。平成27年度には図書館空白地区の岸部地区に自動車文庫の駐車場3か所を新設した。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>中央図書館は、企画立案を行い全館の運営事業の統括を行っている。最寄駅からの距離や、建物の老朽化などから来館者数の増加は期待できないが、書庫を含めた蔵書数は25万冊を超え、その資料をバックボーンとする相談業務は受付件数も多く、また全館の相談業務への支援を行っている。中央図書館の機能として地域資料の網羅的収集と保存、また、ボランティアの育成とともに、職員が学校や保育園等に出かけていく出前講座等、読書推進活動の中心的役割を担っている。施設面においては、築46年を経過していることから耐震やバリアフリーにも未対応であり、本海市立図書館の中核をなす館として施設面やサービス面で多くの課題を抱えているため、今後耐震補強工事及び改修工事による対応が急がれる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月12日
12時29分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00959	千里図書館運営事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10964	01	10	05	04	03	01	02	千里図書館運営事業（図書館費）
所属長	宮東 里花				担当者（内線）森 司朗（244・1302）				
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例								
事業開始年度	昭和53年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市在住、在勤、在学の個人、団体		
目標	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする		
結果	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する		
事業概要	千里図書館及び北千里分室で事業を実施。年末年始（12月28日～1月4日）を除き、毎日午前10時から午後6時まで（千里図書館は木・金曜日は午後8時まで）開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用者対象者別には、児童サービス、ヤングアダルト（中高生向け）サービスをしている。その他、千里図書館の特色あるサービスとして、市民の多文化理解と在住外国人の読書環境の充実を目指して外国語資料や、日本語を学ぶための資料を収集、保存して提供を行い、外国人との交流の場を設けるなどの多文化サービスを行っている。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先① (株) 図書館流通センター関西支社	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容	図書館窓口業務	
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	44,278	44,210	44,029	44,013	44,027
人件費職員数(人)	5.06	5.06	5.06	5.06	5.15
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	41,341	39,974	40,744	39,585	40,917
総事業費(A+B)	85,619	84,184	84,773	83,598	84,944
特定財源(C)	57	38	54	41	51
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	57	38	54	41	51
市負担(D)	85,562	84,146	84,719	83,557	84,893
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	85,562	84,146	84,719	83,557	84,893
財源計(C+D)	85,619	84,184	84,773	83,598	84,944

所属	中央図書館
事務事業番号	00959

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	蔵書新鮮度	%	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	6.68	7.00	
			達成度(%)	66.80	70.00	
目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年を目途に蔵書の入替を行う	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12,602.40	11,942.57	
			一般財源(千円)	12,596.71	11,936.71	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	点	目標値	802,200.00	799,584.00	799,584.00
			実績値	757,865.00	765,037.00	
			達成度(%)	94.50	95.70	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.11	0.11	
			一般財源(千円)	0.11	0.11	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	レファレンス(相談)件数 ※平成29年度より件数のカウント方法を変更した	件	目標値	6,718.00	5,371.00	3,229.00
			実績値	5,371.00	3,229.00	
			達成度(%)	79.90	60.10	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15.67	25.89	
			一般財源(千円)	15.67	25.88	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	多文化サービスに取り組み、外国語資料、絵本を多数収集している。また外国語での絵本の読み聞かせなどを、市内大学生ボランティアや留学生等の協力により実施している。	目標	在住外国人の読書環境の充実と市民の多文化理解を深める
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。千里ニュータウン地域の図書館サービスを継続する上で今後も事業費を維持していく必要がある。</p> <p>【指標数値の評価】 蔵書新鮮度は、目標値を達成していないが、年々上昇している。 個人貸出点数は、目標値を達成していないが、点数は増加している。 レファレンス件数は、平成29年度から記録ルールを変更したので減少している。</p> <p>【今後の方向性】 個人貸出冊数は年々増加している。新築マンションへの広報活動や近隣施設との連携によって更なる利用増を図っていく。</p>		

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00959				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

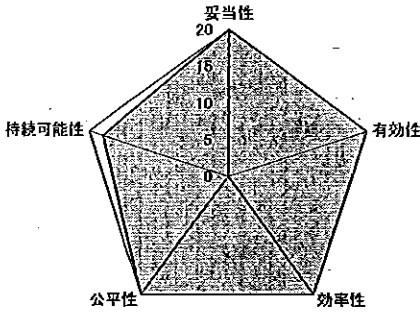
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	98	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00959
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

図書館が設置されている千里ニュータウンプラザ内には、公民館の他、平和祈念資料館や吹田市国際交流協会、市民公益活動センター等市民生活に必要な様々な施設が入っており、資料の案内・提供や講師の紹介等連携・協力を行っている。また北千里分室は同じ建物内の北千里地区公民館と共催の事業を行い、連携・協力している。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里図書館及び北千里分室は、千里ニュータウン地域の図書館として市民の暮らしに役立つサービスを行っている。千里図書館は、専用の相談カウンターを設け、平成25年8月の窓口業務一部委託に伴い市職員の窓口業務を相談業務に絞ることにより、レファレンスサービス(相談業務)が市民に定着しつつある。吹田市立図書館の中で貸出が一番多い。また、多文化サービスを特色としており、吹田市国際交流協会が同じ施設内にあることから日本語を学ぶ外国人への援助や外国人との交流の場として今後の取り組みが期待される。北千里分室は、閲覧室、事務室とも手狭で、利用要求はあるが、それに見合ったサービスができていない状況である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00960	さんくす図書館運営事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10965	01	10	05	04	03	01	03	さんくす図書館運営事業（図書館費）
所属長	宮東 里花					担当者（内線）森 ほだか（745・11）			
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例								
事業開始年度	平成5年度	直近の改正			平成24年度				
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市内在住、在勤、在学の者		
目標	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。		
結果	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。		
事業概要	さんくす図書館で事業を実施。年末年始（12月28日～1月4日）を除き、毎日午前10時から午後6時まで（木・金曜日は午後8時まで）開館し、図書等の資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用者対象別に児童サービス、ヤングアダルト（中高生向け）サービスなどを行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 図書館流通センター関西支社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	貸出、返却等窓口業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	39,322	39,336	39,321	39,310	39,400
人件費職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	24,510	23,700	24,156	23,469	23,835
総事業費(A+B)	63,832	63,036	63,477	62,779	63,235
特定財源(C)	48	34	48	34	36
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	48	34	48	34	36
市負担(D)	63,784	63,002	63,429	62,745	63,199
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	63,784	63,002	63,429	62,745	63,199
財源計(C+D)	63,832	63,036	63,477	62,779	63,235

所属	中央図書館
事務事業番号	00960

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	蔵書新鮮度	%	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	6.26	6.31	
			達成度(%)	62.60	63.10	
目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で入替を目標にしている	単位当たりコスト	総事業費(千円)	10,069.65	9,949.13	
			一般財源(千円)	10,064.22	9,943.74	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	点	目標値	418,944.00	417,432.00	417,432.00
			実績値	358,788.00	355,358.00	
			達成度(%)	85.60	85.10	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.18	0.18	
			一般財源(千円)	0.18	0.18	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	レファレンス(相談)件数 ※平成29年度より件数のカウント方法を変更した	件	目標値	4,315.00	1,950.00	1,740.00
			実績値	1,950.00	1,740.00	
			達成度(%)	45.20	89.20	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	32.33	36.08	
			一般財源(千円)	32.31	36.06	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	吹田市の就労支援事業であるJOBなび、JOBカフェと連携し、就労支援として資格取得のためのテキストや就職のための情報を提供している。	目標	就労を支援する
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適正である。JR以南地域の図書館として、立地の良さを生かして幅広いサービスを行っている。また、大阪市民の利用に加え、北摂7市3町の広域利用においては、JR沿線地域の利用者が増えつつある。</p> <p>【指標数値の評価】指標数値は、蔵書新鮮度・個人貸出点数とも目標値には達していないものの、実績値はほぼ横ばいであるため、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。レファレンス件数については、平成29年度より件数の記録ルールを変更したため、大幅に減少している。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の評価や指標数値の評価を踏まえると、目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、新規利用者開拓などの具体的な方法の検討を行いつつ継続することが妥当である。併せて、幼稚園・保育園訪問や児童館・児童センターへの訪問読み聞かせ、出前講座などを継続して行い、幼い時から図書館に親しみを持ってもらえるよう努めていく。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	さんくす図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00960				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00960
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>JR以南地域の図書館であるさんくす図書館は、駅や商店街に隣接しており買い物客等が利用しやすい図書館である。交通利便性が高く障がい者の利用も多い。立地の良さを生かし、地域の特性に合わせた資料提供を行い、乳幼児から高齢者や障がい者のニーズに応じたサービスを行っている。以前から行っている大阪市との広域利用に加え、平成29年7月から始まった北摂7市3町の広域利用ではJR沿線市域の利用者の利用が増えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月12日
12時41分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00961	江坂図書館運営事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10966	01	10	05	04	03	01	04	江坂図書館運営事業（図書館費）
所属長	宮東 里花				担当者（内線）井手 庸子（746・11）				
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例								
事業開始年度	平成8年度	直近の改正			平成24年度				
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	吹田市在住、在勤、在学の個人及び団体			
目標	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。			
結果	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。			
事業概要	江坂図書館で事業を実施。年末年始（12月28日～1月4日）を除き、毎日午前10時から午後6時まで（木・金曜日は午後8時まで）開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には児童サービス、ヤングアダルト（中高生向け）サービスなどを行う。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 図書館流通センター関西支社	
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	図書館窓口業務	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,166	5,134	21,260	20,856	36,112
人件費職員数(人)	4.16	4.16	4.16	4.16	2.08
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	33,988	32,864	33,497	32,544	16,526
総事業費(A+B)	39,154	37,998	54,757	53,400	52,638
特定財源(C)	45	36	32	17	23
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	45	36	32	17	23
市負担(D)	39,109	37,962	54,725	53,383	52,615
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	39,109	37,962	54,725	53,383	52,615
財源計(C+D)	39,154	37,998	54,757	53,400	52,638

所属	中央図書館
事務事業番号	00961

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	蔵書新鮮度	%	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	7.69	7.92	
			達成度(%)	76.90	79.20	
目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架資料の入替を行う。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,941.22	6,742.42	
			一般財源(千円)	4,936.54	6,740.28	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	点	目標値	783,804.00	795,528.00	795,528.00
			実績値	406,650.00	413,705.00	
			達成度(%)	51.90	52.00	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.09	0.13	
			一般財源(千円)	0.09	0.13	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	レファレンス相談件数 ※平成29年度より件数のカウント方法を変更した	件	目標値	1,712.00	2,789.00	1,833.00
			実績値	2,789.00	1,833.00	
			達成度(%)	162.90	65.70	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	13.62	29.13	
			一般財源(千円)	13.61	29.12	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 平成29年10月から窓口業務等委託を導入したことにより、指標数値の取り方に変更があるものの、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。具体的には、独立したレファレンスカウンターを設置したことにより、より気軽に相談を受けられるように心がける。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	江坂図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00961				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	中央図書館	事務事業番号	00961
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ビジネス街やマンションが隣接している豊津・江坂・南吹田地域の図書館として、通勤者や近隣に住む幼児とその家族連れの利用が多い。市民との協働で舞踊や演奏会を実施している江坂ロビーフェスタは通算136回を数え、地域の方から親しまれ、市民が文化に触れる良い機会となっている。ビジネス関連書やデータベースを提供して通勤者にビジネス支援を行っている。隣接する大阪市との広域連携が要望されている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月12日
12時47分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00962	千里山・佐井寺図書館運営事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり				
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進				
予算事業	10967	01	10	05	04 03 01 05	千里山・佐井寺図書館運営事業（図書館費）
所属長	宮東 里花			担当者（内線） 廣本 史子（747・310）		
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例					
事業開始年度	平成16年度	直近の改正	平成24年度			
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設					
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市在住、在勤、在学の者		
目標	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。		
結果	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。		
事業概要	千里山・佐井寺図書館で事業を実施。年末年始（12月28日～1月4日）を除き、毎日午前10時から午後6時まで（木・金曜日は午後8時まで）開館し、図書等資料収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には児童サービス、ヤングアダルト（中高生向け）サービスなどを行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 図書館流通センター 関西支社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	貸出業務、返却業務などの窓口業務
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	39,183	39,186	38,887	39,977	39,003
人件費職員数(人)	3.50	3.50	3.50	3.50	3.45
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	28,595	27,650	28,182	27,381	27,411
総事業費(A+B)	67,778	66,836	67,069	67,358	66,414
特定財源(C)	42	39	42	26	30
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	42	39	42	26	30
市負担(D)	67,736	66,797	67,027	67,332	66,384
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	67,736	66,797	67,027	67,332	66,384
財源計(C+D)	67,778	66,836	67,069	67,358	66,414

所属	中央図書館
事務事業番号	00962

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	蔵書新鮮度	%	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	5.79	6.16	
			達成度(%)	57.90	61.60	
目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架資料が入れ替わる	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11,543.35	10,934.74	
			一般財源(千円)	11,536.61	10,930.52	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	点	目標値	769,404.00	770,736.00	770,736.00
			実績値	513,312.00	499,134.00	
			達成度(%)	66.70	64.80	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.13	0.13	
			一般財源(千円)	0.13	0.13	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	レファレンス(相談件数)※平成29年度より件数のカウント方法を変更した	件	目標値	8,606.00	7,389.00	2,217.00
			実績値	7,389.00	2,217.00	
			達成度(%)	85.90	30.00	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9.05	30.38	
			一般財源(千円)	9.04	30.37	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 レファレンス(相談)件数は、個人貸出点数に比例して下降傾向にあるが、平成29年度から件数の記録ルールを変更したことを踏まえるとおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、行事・講座の内容や実施回数等を検討し、貸出数やレファレンス件数を伸ばす改善が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 指標数値の分析を踏まえると、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。また、吹田市立図書館の蔵書を集積している書庫は、資料の保存だけを目的とするのではなく、市民への提供を主眼に整備していく必要がある。</p>		

事務事業分析シート

所属名	千里山・佐井寺図書館	事業名	千里山・佐井寺図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00962				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

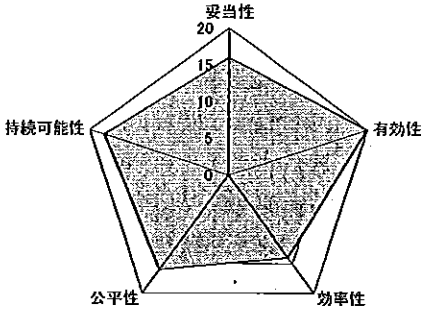
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	84	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	千里山・佐井寺図書館	事務事業番号	00962
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里山佐井寺地区は古くからの集落と新興住宅が混在した地域で、高齢化が進んでいる地域もあるが、全体からみると総じて年少人口の比率が高くなっている。幅広い年齢層のニーズを把握し、地域に密着したきめ細かいサービスを展開する必要がある。CD・DVDを所蔵し大規模書庫を有するため、市内にとどまらず近隣市からの来館者も多い。多目的室等の貸室は市民団体に積極的に活用されている。また、吹田市立図書館の障がい者サービスの拠点館としてサービスを行っており、音訳・点訳ボランティアの養成講座等も実施している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月12日
12時59分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00963	山田駅前図書館運営事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業	10968	01	10	05 04 03 01 06
所属長	宮東 里花		山田駅前図書館運営事業（図書館費）	
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例			
事業開始年度	平成22年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市在住、在学、在勤の者		
目標	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする。		
結果	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。		
事業概要	山田駅前図書館及び山田分室で事業を実施。年末年始（12月28日～1月4日）を除き、毎日午前10時から午後6時まで（木・金曜日は午後8時まで）開館し、図書等資料の収集、閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用者対象別には児童サービス、ヤングアダルト（中高生向け）サービスなどを行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	(株) 図書館流通センター 関西支社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	貸出業務、返却業務等の窓口業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	66,283	66,454	64,181	64,168	64,191
人件費職員数(人)	5.96	5.96	5.96	5.96	5.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	48,694	47,084	47,990	46,626	46,876
総事業費(A+B)	114,977	113,538	112,171	110,794	111,067
特定財源(C)	39	40	39	40	39
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	39	40	39	40	39
市負担(D)	114,938	113,498	112,132	110,754	111,028
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	114,938	113,498	112,132	110,754	111,028
財源計(C+D)	114,977	113,538	112,171	110,794	111,067

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	蔵書新鮮度	%	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	6.07	6.26	
			達成度(%)	60.70	62.60	
目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架の蔵書を入れ替える	単位当たりコスト	総事業費(千円)	18,704.78	17,698.72	
			一般財源(千円)	18,698.19	17,692.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	点	目標値	510,264.00	505,368.00	505,368.00
			実績値	706,511.00	693,412.00	
			達成度(%)	138.50	137.20	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.16	0.16	
			一般財源(千円)	0.16	0.16	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	レファレンス(相談)件数 ※平成29年度より件数のカウント方法を変更した	件	目標値	6,071.00	5,322.00	2,456.00
			実績値	5,322.00	2,456.00	
			達成度(%)	87.70	46.10	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	21.33	45.11	
			一般財源(千円)	21.33	45.10	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。山田地域の図書館サービスの拠点として、今後も事業費を維持する必要がある。</p> <p>【指標数値の評価】 蔵書新鮮度は、新しい館のため除架を控えてきたが、今後は蔵書の刷新を進め改善していく。個人貸出点数は、目標は達成しているが、点数は減少してきている。レファレンスは、平成29年度より件数の記録ルールを変更したことにより減少している。</p> <p>【今後の方向性】 山田駅前図書館は、開館から7年がたち、利用が落ち着いてきている。ゆいぴあ他施設、近隣施設や学校との連携によって、図書館の存在をPRし、利用増を図っていく。山田分室は、地域に密着した図書室として、子供や高齢者を対象にサービス展開している。地域の根強い要望に支えられ、個人貸出の利用は変わらずにある。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	山田駅前図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00963				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00963
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成22年度末に青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザとの連携を目指して、夢つながら未来館内に山田駅前図書館としてオープン。駅前にあり、新しいマンションに囲まれた地域であり、世代を問わず利用されている。青少年活動サポートプラザとの連携ではぶらっとーむ吹田に通う青少年の就労支援をしている。のびのび子育てプラザとの連携事業としては、「ひとりのびのび読書タイム」「えほんのひろば」も定着し好評を得ている。山田分室は、子どもや高齢者や子どもを中心に地域に密着した運営を行っており、変わらぬ利用がある。また、近隣に学校が複数あり団体貸出を通して連携している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月12日
13時03分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00964	千里丘図書館運営事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり			
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進			
予算事業	10969	01	10	05 04 03 01 07	千里丘図書館運営事業（図書館費）
所属長	宮東 里花		担当者（内線）梶原文（243・12）		
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例				
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成24年度		
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市在住、在勤、在学の者		
目標	必要な資料を「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるようにする		
結果	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。		
事業概要	千里丘図書館で事業を実施。年末年始（12月28日～1月4日）を除き、毎日午前10時から午後6時まで（木・金曜日は午後8時まで）開館し、図書等資料の閲覧、貸出、予約、相談業務、利用案内及び蔵書管理業務等を行う。利用対象者別には児童サービス、ヤングアダルト（中高生向け）サービスなどを行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 図書館流通センター 関西支社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	貸出業務、返却業務などの窓口業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	36,087	36,089	36,087	36,722	37,363
人件費職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	24,510	23,700	24,156	23,469	23,835
総事業費(A+B)	60,597	59,789	60,243	60,191	61,198
特定財源(C)	13	12	13	12	13
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	13	12	13	12	13
市負担(D)	60,584	59,777	60,230	60,179	61,185
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	60,584	59,777	60,230	60,179	61,185
財源計(C+D)	60,597	59,789	60,243	60,191	61,198

所属	中央図書館
事務事業番号	00964

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	蔵書新鮮度	%	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	6.83	6.84	
			達成度(%)	68.30	68.40	
目標値の積算方法	受入冊数÷開架冊数×100 ※10年で開架資料が入れ替わる	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8,753.88	8,799.85	
			一般財源(千円)	8,752.12	8,798.10	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	個人貸出点数 ※団体貸出を除く	点	目標値	495,696.00	501,408.00	501,408.00
			実績値	487,935.00	477,544.00	
			達成度(%)	98.40	95.20	
目標値の積算方法	ブロック別人口×12点 ※平成35年度までの目標。平成25年度まではブロック別人口×10点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.12	0.13	
			一般財源(千円)	0.12	0.13	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	レファレンス(相談)件数 ※平成29年度より件数のカウント方法を変更した	件	目標値	2,824.00	2,307.00	1,339.00
			実績値	2,307.00	1,339.00	
			達成度(%)	81.70	58.00	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	25.92	44.95	
			一般財源(千円)	25.91	44.94	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。 具体的には、図書館に来ること自体が楽しみと感じてもらえるような快適な空間作りを工夫する。</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	千里丘図書館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00964				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00964
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

従来より実施していた吹田市・摂津市の相互利用に加え、平成29年7月から北摂7市3町の相互利用が開始され、市民の利便性がより向上した。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里丘地域の図書館として、地域から待ち望まれた図書館であり、平成24年度の開館から多くの利用をいただいている。従来より実施していた吹田市・摂津市の相互利用に加え、平成29年7月から北摂7市3町の相互利用が開始され、市民の利便性がより向上した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
18時26分57秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00965	障がい者への対面朗読等サービス事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10970	01	10	05	04	03	01	08	障がい者への対面朗読等サービス事業（図書館費）
所属長	宮東 里花		担当者（内線）廣本 史子（747・310）						
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例、図書館の設置及び運営上の望ましい基準								
事業開始年度	昭和51年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市在住・在勤・在学の障がい者、文字情報取得困難者		
目標	文字情報の取得困難な障がい者に対し、録音図書（カセットテープ及びデジタイズ図書など）、点字図書の貸出並びに対面朗読サービスを実施する。		
結果	障害の有無に関わらず、市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。		
事業概要	障がい者サービスの拠点館として、分室を除く7つの図書館で実施している対面朗読サービスに従事するボランティアの取りまとめを行っている。また、図書館で養成したボランティアの協力を得ながら、録音図書及び点字図書を製作し利用者に貸出を行っている。平成29年8月からは、来館が困難な障がい者を対象に墨字図書の郵送貸出を開始した。その他、映画を音声で楽しむシネマデジタイズの貸出や映像を伴うマルチメディアデジタイズの利用体験や貸出も行っており、新しいメディアに対応している。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,881	1,795	1,494	1,520	1,474
人件費職員数(人)	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,416	8,137	8,294	8,294	8,184
総事業費(A+B)	10,297	9,932	9,788	9,814	9,658
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	10,297	9,932	9,788	9,814	9,658
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,297	9,932	9,788	9,814	9,658
財源計(C+D)	10,297	9,932	9,788	9,814	9,658

所属	中央図書館
事務事業番号	00965

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	録音図書所蔵タイトル数	タイトル	目標値	3,610.00	3,705.00	3,847.00
			実績値	3,605.00	3,747.00	
			達成度(%)	99.90	101.10	
目標値の積算方法	前年度比100タイトル増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.76	2.62	
			一般財源(千円)	2.76	2.62	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	録音図書の貸出タイトル数	タイトル	目標値	3,284.00	3,368.00	3,843.00
			実績値	3,368.00	3,843.00	
			達成度(%)	102.60	114.10	
目標値の積算方法	過去10年の最大値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.95	2.55	
			一般財源(千円)	2.95	2.55	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	対面朗読利用回数	回	目標値	840.00	840.00	840.00
			実績値	651.00	775.00	
			達成度(%)	77.50	92.30	
目標値の積算方法	1館月10回×12か月×7館 ※分室には対面朗読室を配置していない	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15.26	12.66	
			一般財源(千円)	15.26	12.66	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 活動指標及び成果指標ともにおおむね妥当だが改善の余地がある。録音図書及び点字図書の製作については、全国の点字図書館や公共図書館の動向を見ながらボランティアにより毎年100タイトルを目指して製作している。音訳図書の貸出や対面朗読の実績は全国的にも優れている。</p> <p>【今後の方向性】 本事業は、文字情報が取得困難な市民にも読書と情報のアクセスを保障する公共性の高い事業であり、平成25年6月に制定された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障がい者差別解消法)」に沿った事業を継続実施することが必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	千里山・佐井寺図書館	事業名	障がい者への対面朗読等サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00965				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	千里山・佐井寺図書館	事務事業番号	00965
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 録音図書製作、対面朗読のサービスを遂行するために市が関与すべき事業であり、利用が多く全国的にみても高い水準を維持している。</p> <p>(2)有効性 録音図書の貸出は順調に伸びており、有効である。近年、全国的に録音図書の製作媒体がカセットからデジター(GD)へと移行する中、カセット利用者に対してデジターの普及を図るため、再生機であるプレクストークの利用体験や貸出を行っている。平成29年8月からは、図書館への来館困難な市民に対して心身障がい者用ゆうメールを利用した、墨字図書の郵送貸出を開始した。点字図書は、平成17年から受入を行い貸出も順調である。サービスをより一層発展させるため、障がい者団体、ボランティアと交流会を開催するなど、連携に努めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
20時43分39秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00966	障がい者サービスボランティア養成事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり			
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進			
予算事業	10971	01	10	05	04 03 01 09 障がい者サービスボランティア養成事業（図書館費）
所属長	宮東 里花				担当者（内線）廣本 史子（747・310）
根拠法令等	公立図書館の設置及び運営の望ましい基準				
事業開始年度	昭和51年度	直近の改正	平成24年度		
改正内容	図書館法の改正への対応				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他				
対象	障がい者サービスに関わるボランティア活動をしようとする市民				
目標	市民が技能を習得し、障がい者サービスボランティアとして対面朗読、音訳図書、点字図書の作成等の活動に参加する。				
結果	ボランティア活動の機会や場所を提供することで市民の社会参加を促すことができる。また、これにより障がい者サービスの継続的提供が可能になる。				
事業概要	録音図書や点訳図書の製作機器のデジタル化により、障がい者サービスボランティアは高度な技能の習得が必要とされている。近年、高齢や家庭の事情等により活動が続けられないボランティアが増えており、障がい者サービスを維持するためには継続してボランティアを養成する必要がある。				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①			
		委託先②			
		委託先③			
	主な委託内容				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①				
	交付先②				
	交付先③				
<input type="checkbox"/> その他	内容				

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	668	668	668	668	668
人件費職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	4,740	4,832	4,832	4,767
総事業費(A+B)	5,570	5,408	5,500	5,500	5,435
特定財源(C)	349	344	349	342	350
国	233	229	233	228	233
府	116	115	116	114	117
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,221	5,064	5,151	5,158	5,085
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,221	5,064	5,151	5,158	5,085
財源計(C+D)	5,570	5,408	5,500	5,500	5,435

所属	中央図書館
事務事業番号	00966

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	障がい者サービスボランティア養成講座実施回数	回	目標値	48.00	46.00	46.00
			実績値	48.00	46.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	112.67	119.57	
			一般財源(千円)	105.50	112.13	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	録音図書所蔵タイトル数	タイトル	目標値	3,610.00	3,705.00	3,847.00
			実績値	3,605.00	3,747.00	
			達成度(%)	99.90	101.10	
目標値の積算方法	前年度比100増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.50	1.47	
			一般財源(千円)	1.40	1.38	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	障がい者サービス登録ボランティア人数	人	目標値	204.00	221.00	220.00
			実績値	221.00	220.00	
			達成度(%)	108.30	99.50	
目標値の積算方法	前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	24.47	25.00	
			一般財源(千円)	22.91	23.45	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると事業成果は、現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると継続すべきである。市民にボランティアの技能を学ぶ機会を提供することにより、社会参加の機会を提供している。また、障がいを持つ市民の読書と情報へのアクセスを保障するため、障がい者サービスを支えるボランティアの養成は非常に重要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	千里山・佐井寺図書館	事業名	障がい者サービスボランティア養成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00966				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

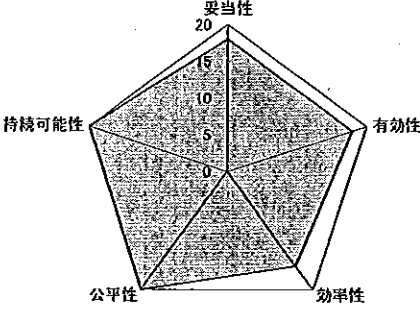
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞給等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点

所属名	千里山・佐井寺図書館	事務事業番号	00966
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 音訳・対面朗読、点訳ボランティアは、高度な技能習得が要求され、それに対応した養成講座を定期的に開催している。終了した受講生は即戦力として、対面朗読や音訳・点訳図書製作に携わっている。より一層多様化した利用者のニーズに対応するため、スキルアップ講座や交流会を開催している。 近年ベテランボランティアの高齢化が顕著であり、新たなボランティアを補充していくために養成講座の継続が不可欠となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 2日
19時39分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00967	ブックスタート事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10973	01	10	05	04	03	01	11	ブックスタート事業（図書館費）
所属長	宮東 里花			担当者（内線）	桑名 裕子（2967）				
根拠法令等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、吹田市子ども読書活動推進計画								
事業開始年度	平成15年度	直近の改正	平成25年度						
改正内容	平成19年度から5年間の取り組みを踏まえて課題等を整理								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市在住の赤ちゃん（4か月以上1歳の誕生日まで）とその保護者		
目標	絵本を通じて親子のきずなを深め、赤ちゃんの心豊かな成長を応援する。		
結果	子どもの読書活動の推進を図り、子どもの将来の読書力の向上に寄与する。また、子育てに不安を抱く保護者を支援する。		
事業概要	市内全図書館と自動車文庫で、赤ちゃんとその保護者に絵本を1冊プレゼントする。対象者への案内は、母子手帳に掲載されているほか、4か月健診、乳児後期健診の案内に同封して送付している（保健センター担当）。また、中央図書館で「ブックスタートのためのお話ボランティア養成講座」を開催し、講座を修了されたボランティアによる絵本の読み聞かせやわらべうた、手遊びに親しむ「ブックスタートのひろば」を平成16年1月から全館で実施している。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,598	2,588	2,598	2,595	2,598
人件費職員数(人)	0.92	0.92	0.92	0.92	1.15
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	7,517	7,268	7,408	7,408	9,137
総事業費(A+B)	10,115	9,856	10,006	10,003	11,735
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	10,115	9,856	10,006	10,003	11,735
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,115	9,856	10,006	10,003	11,735
財源計(C+D)	10,115	9,856	10,006	10,003	11,735

所属	中央図書館
事務事業番号	00967

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	絵本の配布冊数	冊	目標値	3,464.00	3,231.00	0.00
			実績値	2,949.00	2,604.00	
			達成度(%)	85.10	80.60	
目標値の積算方法	当該年度の対象者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.34	3.84	
			一般財源(千円)	3.34	3.84	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ブックスタートのひろば実施回数	回	目標値	1,190.00	1,190.00	1,190.00
			実績値	1,221.00	1,221.00	
			達成度(%)	102.60	102.60	
目標値の積算方法	140回×(7館1分室)+70回×1分室	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8.07	8.19	
			一般財源(千円)	8.07	8.19	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ブックスタートのひろば参加率	%	目標値	200.00	200.00	200.00
			実績値	233.27	217.05	
			達成度(%)	116.60	108.50	
目標値の積算方法	参加対象乳児数(参加人数÷2)÷該当年度対象者数×100 ※対象乳児が2回以上参加する	単位当たりコスト	総事業費(千円)	42.25	46.09	
			一般財源(千円)	42.25	46.09	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 子供の読書離れが進む中、子供たちが本に親しみ読書の習慣を持つ環境を整備することは大変重要であり、本市でも生涯学習課が中心となり関係部局により平成19年に策定、平成25年に改訂した「子ども読書活動推進計画」の中でもその必要性について論じている。ボランティアグループの協力で実施している「ブックスタートのひろば」には毎年多数の参加者がある。</p> <p>【今後の方向性】 短期的に具体的な成果を示せる事業ではないが、長期的な視点に立った時、子供の読書力の向上に大きく寄与するものとする。また孤立しがちな現代の保護者のために、子育て支援の面でも貢献するものとなっている。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	ブックスタート事業	事業区分	その他
事務事業番号	00967				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
②サービスの水準は適正ですか。			
b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	96	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00967
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「ブックスタートのひろば」の発展事業として、対象年齢を2～3歳児に上げた「おひざで絵本」を実施している。そのためのボランティアも養成するなど、図書館と市民との協働による読書環境整備がすすんでいる。絵本の配布については、子育て支援課と保健センターの協力を得ている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>赤ちゃんが読書に親しむ契機となる事業であるとともに、保護者にとっても、赤ちゃんとの関わりを深める一助となっている。また、絵本を配布する際には、ブックスタートのひろばを案内することで継続的な図書館利用へいざなっている。</p> <p>ブックスタートのひろばに参加する保護者にとっては、赤ちゃんをとおして他の保護者との交流を育むなど親子の居場所となっている。加えて各館で「抱っこで絵本講座」を実施し、ブックスタート以後の個別に読書に親しむ環境づくりも支援している。</p> <p>絵本の配布率については、100%を目指して子育て支援課や保健センターと連携して取り組んでおり、一時低下したが現在は80%以上を維持している。今後も100%を目指して様々な工夫を継続していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、同法に基づき、国は平成14年に「子どもの読書活動推進に関する基本的な計画」を策定、平成18年度までの概ね5年間にわたる施策の基本方向と具体的方策を明らかにした。その後、府においては平成15年に、吹田市においては平成19年に「子ども読書活動推進計画」を策定した。平成20年には第2次の計画が閣議決定され、大阪府も平成23年に第二次基本計画を策定し、本市においても平成25年3月に「吹田市子ども読書活動推進計画(改訂)」を策定した。

事務事業評価（確認書）

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00968	主催行事事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり			
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進			
予算事業	10974	01	10	05 04 03 02 01	主催行事事業（図書館費）
所属長	宮東 里花		担当者（内線）桑名 裕子（2967）		
根拠法令等	図書館法、図書館の設置及び運営上の望ましい基準				
事業開始年度	不明	直近の改正	平成24年度		
改正内容	図書館法の改正等に対応				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民		
目標	各種行事を通じて本や図書館に親しみ、図書館利用を促進する。		
結果	市民一人一人の生涯にわたる自主的な学習活動を支援し、教養や文化、調査等に資することにより、心豊かな市民生活と生涯学習社会の形成に寄与する。		
事業概要	読書、子供の成長ならびに子供の本に関心のある人向けの「子どもと本の講座」や吹田市に関係した講師や関連する事柄をテーマとする「図書館講座じゅずつなぎ」及びビブリオバトル等を通じ、市民に本の世界をより深く知ってもらう行事を実施している。また、「子どもと本のまつり」や人形劇、紙芝居など子供向け行事や読書についての意見交換等を通じてふだん図書館を利用しない子供たちにも図書館に足を運んでもらう取組みを行っている。また、全館で、定期的に絵本の読み聞かせや、お話し会、講座を実施している。その他、職員が選んだその年のおすすめ本を紹介した冊子を小学生向けと中高生向けに作成し夏休みの前に配布するとともに、全館でコーナーを設置し紹介している。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	905	795	905	784	905
人件費職員数(人)	4.34	4.34	4.34	4.34	4.28
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	35,458	34,286	34,946	33,952	34,005
総事業費(A+B)	36,363	35,081	35,851	34,736	34,910
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	36,363	35,081	35,851	34,736	34,910
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	36,363	35,081	35,851	34,736	34,910
財源計(C+D)	36,363	35,081	35,851	34,736	34,910

所属	中央図書館
事務事業番号	00968

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	主催行事参加延人数（後援事業及びボランティア関連行事を除く）	人	目標値	24,867.00	24,044.00	22,836.00
			実績値	24,044.00	22,836.00	
			達成度(%)	96.70	95.00	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.46	1.52	
			一般財源(千円)	1.46	1.52	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出延利用者数	人	目標値	880,096.00	929,962.00	919,121.00
			実績値	929,962.00	919,121.00	
			達成度(%)	105.70	98.80	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.04	0.04	
			一般財源(千円)	0.04	0.04	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。子供たちの興味、関心に合った行事や市民の参加意欲を刺激する講座を企画開催することで、市民が図書館に親しみをもち、生涯学習の幅を広げ図書館利用の促進と読書意欲の向上に寄与している。子供向けの行事では、市民との協働が活発に行われ、ボランティアの参加による自己実現につながっている。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。具体的には、行事への参加を図書館利用へつなげるより一層の仕掛けづくりが必要である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果がおおむね出ており事業費も適正であるため実施方法の検討などの改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	主催行事事業	事業区分	その他
事務事業番号	00968				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00968
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

図書館フレンズ、YAサポーター等の市民ボランティアが行事の実施の補助として参加している。市民の交流の場と自己実現の場として利用されている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>子どもたちの興味、関心に合った行事を開催したり、市民の参加意欲を刺激する講座を開催することで、図書館の存在をアピールする等、様々な文化や知識にふれる場を提供し市民の生涯学習の推進につなげている。子ども向けの行事については、市民との協働が活発に行われ、専門ボランティアの図書館事業への参加による自己実現につながっている。成人向けの行事では、座学だけでなく運動講座や書庫見学デーを設けるなどして、市民が図書館に親しみを持ち、生涯学習の幅を広げ、図書館利用の促進と読書意欲の向上に寄与している。特に文化スポーツ推進室と連携した運動講座は普段図書館利用をしない方への図書館のアピールができた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月26日
17時38分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00969	図書館協議会活動事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10975	01	10	05	04	03	02	02	図書館協議会活動事業（図書館費）
所属長	宮東 里花				担当者（内線）長 八七代（2967）				
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例、吹田市立図書館協議会規則								
事業開始年度	平成15年度		直近の改正		平成24年度				
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	図書館の運営		
目標	図書館運営について、市民の意見を反映させる		
結果	市民の声を反映した図書館運営を行い、よりよい市民の生涯学習支援の実現を図る		
事業概要	年3回協議会を開催し、図書館の運営について意見を述べるとともに、館長の諮問に対して答申を行うほか、運営について外部評価を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	188	157	188	158	188
人件費職員数(人)	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	899	869	886	886	954
総事業費(A+B)	1,087	1,026	1,074	1,044	1,142
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,087	1,026	1,074	1,044	1,142
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,087	1,026	1,074	1,044	1,142
財源計(C+D)	1,087	1,026	1,074	1,044	1,142

所属	中央図書館
事務事業番号	00969

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	協議会実施回数	回	目標値	3.00	3.00	3.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	協議会予定回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	342.00	348.00	
			一般財源(千円)	342.00	348.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	図書館の運営について意見を述べるとともに年度ごとの活動について評価を行う。	目標	図書館奉仕について意見を述べる。年度ごとに外部評価を行う。
成果内容	「中央図書館の再整備のあり方(答申)」をホームページで公開。平成28年度外部評価実施。「平成28年度(2016年度)吹田市立図書館点検・評価報告書」としてホームページで公開。	達成状況	「中央図書館の再整備のあり方(答申)」、平成28年度の吹田市立図書館点検・評価報告をホームページで公開。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】事業費は適切である。(理由:委員は10名であり、報酬及び費用弁償とも増加しない。) 【今後の方向性】行政として多様化する市民の要求を把握し、外部意見を取り入れ運営に反映していく必要があることから、協議会の設置は妥当であり、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、今後も継続していく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館協議会活動事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00969				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	85	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00969
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>図書館協議会は、図書館行政の諮問機関という性質上、有効性、効率性についての評価は難しい面がある。内容としては、図書館の運営について意見を提出する他、図書館法に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」により点検・評価報告を実施するなど図書館の運営に必要な存在となっている。図書館協議会による点検・評価を受けて、次年度の運営方針決定し予算等必要な措置をとるには、開催時期を再考する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月15日
16時37分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00970	図書館の広域連携（相互利用）事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	11406	01	10	05	04	03	01	12	図書館の広域連携（相互利用）事業（図書館費）
所属長	宮東 里花				担当者（内線） 長 八七代（2967）				
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例								
事業開始年度	平成23年度		直近の改正		平成24年度				
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市在住の個人		
目標	生涯学習環境の整備		
結果	多様化する市民一人一人の生涯学習を支援し、資料の有効活用を図る		
事業概要	市民及び本市に隣接する市の市民が相互に図書館を利用できるようにする。平成23年（2011年）に豊中市と協定を結び相互に3館ずつの利用を、平成25年（2013年）には4館ずつに増やして試行した。平成26年（2014年）には、さんくす図書館を大阪市民が利用できるようにした。なお、吹田市民は大阪市の図書館全館を利用できる。平成27年には千里丘図書館を摂津市民が、摂津市民図書館を吹田市民が利用できるようにした。平成29年（2017年）7月1日より北摂地区の公立図書館7市3町の広域利用を開始した。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他		
	委託先①		
	委託先②		
	委託先③		
	主な委託内容		
	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	191	187	346	350	26
人件費職員数(人)	0.35	0.35	0.35	0.35	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	2,860	2,765	2,819	2,739	5,562
総事業費(A+B)	3,051	2,952	3,165	3,089	5,588
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,051	2,952	3,165	3,089	5,588
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,051	2,952	3,165	3,089	5,588
財源計(C+D)	3,051	2,952	3,165	3,089	5,588

所属	中央図書館
専務事業番号	00970

2頁
平成30年 8月15日
16時37分23秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	広域貸出の延利用者数	人	目標値	15,611.00	14,445.00	16,324.00
			実績値	14,445.00	16,324.00	
			達成度(%)	92.50	113.00	
目標値の積算方法	前年比増 ※平成29年6月までは豊中市、大阪市、摂津市と実施。平成29年7月からは大阪市と北摂7市3町で実施	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.20	0.19	
			一般財源(千円)	0.20	0.19	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	大阪市及び北摂7市3町への貸出点数	点	目標値	40,879.00	45,453.00	0.00
			実績値	45,453.00	50,900.00	
			達成度(%)	111.20	112.00	
目標値の積算方法	前年比増 ※平成29年6月までは豊中市、大阪市、摂津市と実施。平成29年7月からは大阪市と北摂7市3町で実施	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.06	0.06	
			一般財源(千円)	0.06	0.06	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市民の豊中市の延利用者数	人	目標値	12,388.00	12,102.00	13,366.00
			実績値	12,102.00	13,366.00	
			達成度(%)	97.70	110.40	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.24	0.23	
			一般財源(千円)	0.24	0.23	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市民の豊中市の図書館での貸出点数	点	目標値	33,127.00	32,882.00	36,688.00
			実績値	32,882.00	36,688.00	
			達成度(%)	99.30	111.60	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.09	0.08	
			一般財源(千円)	0.09	0.08	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は削減の余地がある。(理由:平成29年(2017年)7月からの北摂7市3町の公立図書館全館の相互利用の開始に当たり、平成29年度(2017年度)に専用の借出しカードの作成や利用案内、チラシ作製等準備のための費用を増額したため、平成30年度(2018年度)からは削減できる。)</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移、広域連携は拡大していることを踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており継続すべきである。また、今後は、北摂7市3町の相互利用について一層のPRに努める他、大阪市民の広域利用を現在のさくすく図書館に加えて、江坂図書館でも実施できるよう協議及び検討を進める。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館の広域連携(相互利用)事業	事業区分	その他
事務事業番号	00970				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	98	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	00970
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成28年(2016年)2月から、これまで対象としていなかったDVDの貸出を開始した。北摂地域では豊中市と摂津市で広域貸出を実施(試行)していたが、平成29年(2017年)7月から北摂7市3町の全公立図書館で広域貸出を開始し、利用増となっている。平成26年7月から大阪市との広域連携を実施(試行)し、好評である。東淀川区在住の大阪市民の利用が多い。また拡大の要望もある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>北摂7市3町間で協定を結び平成29年(2017年)7月1日から、北摂地区7市3町の全公立図書館で広域貸出を開始した。必要な経費は、専用貸出カード作成やPRのためのチラシ等の紙代に係るもので、コンピューターシステムの変更はないためコストは低く抑えられている。実施している大阪市との広域連携については、拡大が課題であり、現在さんくす図書館で大阪市民への広域貸出を実施しているが、今後は江坂図書館でも実施できるように協議を行っていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
19時04分16秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01104	図書館コンピュータシステム整備事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり							
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進							
予算事業	10972	01	10	05	04	03	01	10	図書館コンピュータシステム整備事業（図書館費）
所属長	宮東 里花			担当者（内線）久志 友美（741・41）					
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例、図書館の設置及び運営上の望ましい基準								
事業開始年度	昭和58年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	市民		
目標	市民が使いやすい図書館システムの構築		
結果	市民のインターネットによる検索の他、図書館利用の24時間化、簡便化及びスピード化を図るとともに図書館システム利用による業務の効率化を図る。		
事業概要	昭和58年から図書館資料の貸出、返却、データ管理を行い、平成13年にはインターネットから蔵書検索ができるシステムを導入した。平成16年度にはインターネットからの予約サービスを導入し、利用者が図書館資料にアクセスしやすい環境を整えている。平成28年2月のシステム更新では、IC機器を導入し、自動貸出機、自動返却機及び盗難防止ゲートを設置し、貸出・返却が利用者自身で迅速にできるようになり利便性が向上している。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	74,987	75,068	69,813	69,811	70,182
人件費職員数(人)	3.12	3.12	3.12	3.12	3.12
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	25,491	24,648	25,123	25,123	24,789
総事業費(A+B)	100,478	99,716	94,936	94,934	94,971
特定財源(C)	74	8,603	79	83	79
国	0	0	0	0	0
府	0	8,500	0	0	0
その他	74	103	79	83	79
市負担(D)	100,404	91,113	94,857	94,851	94,892
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	100,404	91,113	94,857	94,851	94,892
財源計(C+D)	100,478	99,716	94,936	94,934	94,971

所属	中央図書館
事務事業番号	01104

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ホームページの更新件数	件	目標値	1,680.00	1,680.00	1,680.00
			実績値	1,534.00	1,544.00	
			達成度(%)	91.30	91.90	
目標値の積算方法	月140件×12か月 ※平成25年度までは月100件×12か月	単位当たりコスト	総事業費(千円)	65.00	61.49	
			一般財源(千円)	59.40	61.43	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ホームページアクセス件数	件	目標値	1,965,325.00	1,140,837.00	995,136.00
			実績値	1,140,837.00	995,136.00	
			達成度(%)	58.00	87.20	
目標値の積算方法	前年度比増 ※但しトップページのアクセス件数のみ	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.09	0.10	
			一般財源(千円)	0.08	0.10	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	WEB予約数	件	目標値	643,994.00	763,754.00	800,362.00
			実績値	763,754.00	800,362.00	
			達成度(%)	118.60	104.80	
目標値の積算方法	前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.13	0.12	
			一般財源(千円)	0.12	0.12	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適切である。システム更新に合わせて、課題であったデジタルコンテンツの提供と公衆無線LANの整備をおこなった。自動貸出機や自動返却及び盗難防止ゲート(BDS)も設置した。100%近くの利用者がこれらの機器を利用しており、以前よりも貸出や返却にかかる待ち時間が短縮され、利便性は向上していると考えられる。また、ホームページを更新し使いやすくなった。</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。ホームページ(トップページ)のアクセス数については大幅減となっているが、蔵書検索画面のアクセス数は大幅に増加している。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため継続すべきである。今後も、高齢者や身体に障がいがある方など、機器の利用に不慣れな利用者層に対してはきめ細かなサポートを行うと共に、導入した機器を最大限に有効に活用できるよう改善を行っていく。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館コンピュータシステム整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01104				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④利用者が対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	10	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
(4) 公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	10	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	01104
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

行政におけるコンピュータ利用としては、本庁のシステムに次いで高度なシステムを運用しており、情報提供から蔵書検索及び予約申し込みまで、現在の図書館サービスの根幹を支える事業であり、最近ではツイッターやフェイスブック等のSNSの活用を含め、情報アクセスのポータル役割を果たしている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>図書館コンピューターシステムの導入により、利用者にとっては、家や外出先から図書館の蔵書検索、予約、利用状況の確認ができる他、新システム更新後は、地域の写真や、新聞記事見出しデータなども登録され、地域資料のデータベースとしても、より便利に活用してもらえるようになった。事業費については、調達時に、必要機器台数を精査することで費用の圧縮に努めた。また、レシート広告やバナー広告の募集に取り組み経費削減に努めている。新システム更新後は、ICタグ関連機器の導入で利用者の利便性やプライバシー保護が向上し、蔵書管理の効率化も図れている。図書館ホームページもリニューアルされ、地域に関する情報、子育て支援に関する情報など、より体系的に分かりやすく情報発信できるようになった。ホームページのアクセス数が減少しているが、集計方法に変更があったためと考えられる。また、事業当初と比較して図書館の館数の増加やICタグ等の導入のため事業費は増大している。ICタグの導入により、事務の軽減化を図ることから市の負担は増えない見込みである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

図書館法の改正や、社会情勢の変化に伴い、平成13年に告示された「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年に改正された。電子資料の作成、収集及び提供並びに外部情報に入手等、情報サービスの充実について言及されている。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 3日
17時15分22秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01346	図書館網の整備事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業				
所属長	宮東 里花		担当者（内線） 長 八七代（2967）	
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館基本構想			
事業開始年度	不明	直近の改正	平成24年度	
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他			
対象	吹田市在住、在勤、在学の者			
目標	吹田市内の図書館網を整備する			
結果	市民がより良い環境で生涯学習を享受できる。			
事業概要	図書館利用不便地域に図書館を整備するとともに、現在狭隘など課題のある図書館の拡充整備を行う。			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	委託先①		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	中央図書館
事務事業番号	01346

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	中央図書館の耐震・改修、江坂図書館及び北千里分室の拡充について関係部局に働きかけを行う。	目標	中央図書館の耐震化、将来的な移設、北千里分室、江坂図書館の拡充
成果内容	課題であった岸部地域の図書館整備は(仮称)健都ライブラリー整備事業として、平成28年(2016年度)からの基本設計を経て、現在実施設計を行っている。	達成状況	(仮称)健都ライブラリー整備の事業化

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】事業費は計上されていない。 【今後の方向性】図書館不便地域である岸部地域への図書館整備については、(仮称)健都ライブラリー整備事業で平成32年度(2020年度)の供用開始に向けて整備をおこなっている。また、中央図書館については平成27年(2015年)11月、図書館協議会より「吹田市立中央図書館再整備のあり方(答申)」が出された。平成29年度(2017年度)実施の耐震診断の結果、震度6強から7程度の大地震発生時には倒壊または崩壊の危険性が高いと判定されたため、その後の対応が急がれる。北千里分室については、北千里小学校跡地の複合施設の整備について、継続して地域住民や関係部局と協議を行う必要がある。

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館網の整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01346				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	01346
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

中央図書館については、平成29年度(2017年度)に実施した耐震診断の結果、大地震(震度6強から7程度)発生時に倒壊または崩壊の危険性が高いことが判明したため、平成30年度(2018年度)に今後のあり方についての方向性を決定する。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>岸部地域については、(仮称)健都ライブラリー整備事業として事業化された。平成32年度(2020年度)の供用開始をめざす。平成27年度(2015年度)図書館協議会において「吹田市立中央図書館再整備のあり方(答申)」が出され将来を見越した新しい図書館像が提示された。平成29年度(2017年度)に実施した中央図書館の耐震診断により、大地震(震度6強から7程度)発生時に倒壊または崩壊の危険性が高いことが判明したため、今後の方向性の決定が急がれる。北千里地域については、平成28年(2016年)3月に策定された「北千里駅周辺活性化ビジョン」により再整備の方向性が示され、又、現在、北千里小学校跡地の複合施設の整備について関係部局とともに公共施設の検討を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
13時08分47秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01348	図書館資料の充実事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業				
所属長	宮東 里花		担当者(内線) 長 八七代(2967)	
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例			
事業開始年度	不明	直近の改正	平成24年度	
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部(上乘せ、横出し等あり) ○ なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市在住、在学、在勤の者		
目標	幅広い図書の購入により市民の知的要求に応える		
結果	市民の生涯学習意欲の向上と生涯学習環境の整備		
事業概要	市民一人当たりの図書費を300円として図書の購入を行い所蔵資料の充実を目指す。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	中央図書館
事務事業番号	01348

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	図書購入費	円	目標値	110,856,600.00	111,021,600.00	111,021,600.00
			実績値	62,754,330.00	62,749,840.00	
			達成度(%)	56.60	56.50	
目標値の積算方法	市の人口×300円	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸出点数	点	目標値	4,434,264.00	4,440,864.00	4,440,864.00
			実績値	3,640,172.00	3,606,660.00	
			達成度(%)	82.10	81.20	
目標値の積算方法	人口×12点 ※平成35年度までの目標。 平成25年度までは、人口×10点。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は計上されていない。</p> <p>【指標数値の評価】人口1人当たりの図書費は170円であり、目標値300円からは下回っているが貸出点数は減となっているため、所蔵資料の有効活用の方策等改善が必要である。</p> <p>【今後方向性】図書館資料の充実に対する要求は、年々多様化し高度化してきている。市民個人個人にとって魅力ある資料をそろえ、直接閲覧室で資料を手にとることができるように、開架点数を増やす取組を行う。より多くの資料購入ができるよう、国や府の補助金などを活用して資料の充実に取り組む必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	図書館資料の充実事業	事業区分	その他
事務事業番号	01348				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	01348
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>通常の図書購入に加え、平成22年度(2010年度)の地域活性化交付金、平成22年度(2010年度)以降の新館建設に伴う図書購入により、目標数値である100万冊の蔵書を達成できた。今後、蔵書の新鮮度を向上させ、市民が直接資料を手に取りことができよう、開架(閲覧室)に設置する資料を増やすことが市民の学習活動に直結するため大変重要な課題となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 2日
20時53分39秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01349	北摂図書館相互貸借事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業				
所属長	宮東 里花		担当者（内線）桑名 裕子（2967）	
根拠法令等	図書館法、吹田市立図書館条例			
事業開始年度	平成5年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	千里図書館の移設及び千里丘図書館の新設			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市在住、在勤、在学の人		
目標	吹田市、豊中市及び箕面市の蔵書の有効活用		
結果	多様化する市民の資料要求に応えることにより、生涯学習活動に寄与する。		
事業概要	吹田市、豊中市及び箕面市の3市間における図書館の相互貸借事業。市内の図書館に所蔵していないリクエストされた図書、他市の図書館から借り受け、市民に提供している。3市の図書館間の図書の運搬業務については、3週間ごとにローテーションを組んで3市それぞれが負担し行っている。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	中央図書館
事務事業番号	01349

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	担当運搬回数	回	目標値	16.00	16.00	16.00
			実績値	16.00	17.00	
			達成度(%)	100.00	106.30	
目標値の積算方法	予定担当運搬回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	3市間における借受冊数	冊	目標値	2,510.00	2,457.00	2,276.00
			実績値	2,457.00	2,276.00	
			達成度(%)	97.90	92.60	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	3市間における貸出冊数	冊	目標値	1,462.00	1,512.00	1,622.00
			実績値	1,512.00	1,622.00	
			達成度(%)	103.40	107.30	
目標値の積算方法	前年比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(事業の実施にあたっては、配本業務を総務室車両担当の協力を得て図書館員が随行する形で行っているため、予算措置は行われていない。)</p> <p>【指標数値の評価】 吹田市、豊中市及び箕面市がそれぞれ所蔵していない資料を相互利用することで、資料の有効活用を図り、利用者の多様な資料要求に迅速に対応しており、事業成果はおおむね妥当であるが効率性の点で改善の余地はある。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果でおおむね出ており、また資料費の有効活用の点からもこの事業の必要性は増しており、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	中央図書館	事業名	北摂図書館相互貸借事業	事業区分	その他
事務事業番号	01349				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	01349
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成29年度に北摂地区7市3町の広域利用が開始したが、予約制度はないため、今後もこの取組みは必要である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民の多様な資料請求に迅速に対応するとともに、図書館資料の有効活用を図っている。この事業は、各市が互いに配本を担当する形で維持されており、本市は配本業務を総務室の車両担当の協力を得て図書館員が随行する形で行っている。今後はより効率的、効果的な環境の整備が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 3日
17時27分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01350	子どもたちに読ませたい100冊の本事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業				
所属長	宮東 里花	担当者(内線)長 八七代(2967)		
根拠法令等	吹田市子ども読書活動推進計画			
事業開始年度	平成19年度	直近の改正	平成25年度	
改正内容	平成23年度までの5年間の事業推進状況を踏まえ、読書活動の更なる充実めざして今後の推進計画を策定した。			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市に在住、在学の児童生徒		
目標	児童生徒の読書活動を促進する。		
結果	児童生徒の読書環境を豊かにする		
事業概要	本に親しむ環境づくりを行うため、市民委員の参加する選定委員会で選定された100冊の本を全図書館に設置し貸出を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	中央図書館
事務事業番号	01350

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	児童書購入冊数	冊	目標値	10,980.00	10,286.00	10,560.00
			実績値	10,286.00	10,560.00	
			達成度(%)	93.70	102.70	
目標値の積算方法	前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	児童書貸出件数	冊	目標値	1,297,223.00	1,337,394.00	1,334,290.00
			実績値	1,337,394.00	1,334,290.00	
			達成度(%)	103.10	99.80	
目標値の積算方法	前年度比増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は増額を検討する必要がある。(理由:冊子の改訂が必要なため。)</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。具体的には図書館行事や他のブックリスト、出前講座、学校への働きかけなど他の読書推進の取組と関連性を持たせて事業を進めていく必要がある。</p> <p>【今後の方向性】指標数値の分析を踏まえると目標とする効果を維持するために継続すべきである。冊子については当初の予定では5年毎の改訂を予定していたが、冊子に上がっている良書の出版状況は安定しているため、10年をめぐりに冊子の改訂を行う。</p>

事務事業分析シート

2018/6/31636

所属名	中央図書館	事業名	子どもたちに読ませたい100冊の本事業	事業区分	その他
事務事業番号	01350				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		o. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		o. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	78	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	01350
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

子ども読書活動推進計画の取組を市民にアピールするうえで重要である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成21年(2009年)に冊子を発行して以来、子どもの本を選ぶ際の参考として利用されている。全館でコーナーを設置して啓発に努めている。当初は、5年毎に改訂の予定をしていたが、良書の出版状況は安定していること、児童書の場合において基礎的な図書については変更がほとんどないことから、見直しの期間を延長し10年としており、今後は冊子の改訂を行う。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 3日
17時36分36秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002020100	中央図書館
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01773	(仮称) 健都ライブラリー整備事業 (
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	02	生涯にわたり楽しく学べるまちづくり		
細節	20	社会教育施設等における生涯学習の推進		
予算事業	11887	01	10	05 13 01 01 01 (仮称) 健都ライブラリー整備事業 ((仮称) 健都ライブラリー建
所属長	宮東里花	担当者 (内線) 林野優子 (741-45)		
根拠法令等	図書館法 吹田市図書館条例			
事業開始年度	平成29年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	千里図書館の移設、千里丘図書館の新設			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部 (上乘せ、横出し等あり) ○ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 ● 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	吹田市在住・在勤・在学者			
目標	図書館利用不便地域であった岸部地域に図書館の整備を進める。			
結果	(仮称) 健都ライブラリーにおいて展示予定のゼロ系新幹線の配置場所等について、整理を行い、基本設計の修正業務が完了した。また、建設予定地である吹田操車場の埋蔵文化財発掘調査を実施し、現地調査が完了した。			
事業概要	北大阪健康医療都市 (健都) の健都レールサイド公園に市民が健康づくりに取り組み、多世代が交流できる機能を持たせた図書館を整備する。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	■ 委託又は一部委託	委託先①	株式会社三弘建築事務所	
		委託先②	公益財団法人 大阪府文化財センター	
		委託先③		
	□ 補助金・負担金・	主な委託内容	(仮称) 健都ライブラリー基本設計修正業務	
		交付先①		
交付先②				
□ その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費 (A)	0	0	107,179	36,473	40,838
人件費職員数 (人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.29
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額 (B)	0	0	8,052	8,052	10,250
総事業費 (A+B)	0	0	115,231	44,525	51,088
特定財源 (C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担 (D)	0	0	115,231	44,525	51,088
地方債	0	0	30,800	0	30,400
その他	0	0	70,000	0	0
一般財源	0	0	14,431	44,525	20,688
財源計 (C+D)	0	0	115,231	44,525	51,088

所属	中央図書館
事務事業番号	01773

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	図書館利用不便地域の解消を目指し、岸部地域に図書館の整備を進める。北大阪健康医療都市(健都)での市民の健康づくりへの取組みに向けて、関係部局と協議を進める。	目標	図書館利用不便地域であった岸部地域への図書館の整備
成果内容	ゼロ系新幹線の設置場所変更に伴い、基本設計の修正を行い、続いて実施設計を開始した。建設予定地の埋蔵文化財調査を実施し、現地調査が終了した。	達成状況	基本設計修正完了。実施設計開始。建設予定地の埋蔵文化財調査のうち、現地調査完了。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は増額を検討する必要がある。(理由:平成30年7月末完了予定の実施設計の結果を受けて、具体的な建設工事費の算出を行うため。)</p> <p>【進捗状況の評価】 現状では、実施設計業務を実施中である。当初のスケジュールと比較すると遅れている。当初は平成31年度末の供用開始予定だったが、基本設計の修正を行なったため、スケジュール変更し、平成32年秋の供用開始を目指す。今後、現在のペースで事業を実施すると、変更後の計画どおり実施される見込みである。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、事業費は高いが目標とする効果は施設供用開始後に出る見込みであるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>	

事務事業分析シート

2018/6/51520

所属名	中央図書館	事業名	(仮称)健都ライブラリー整備事業((仮称)健都ライブラ)	事業区分	建設事業
事務事業番号	01773				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	中央図書館	事務事業番号	01773
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成29年(2017年)2月定例会において、(仮称)健都ライブラリーで活用展示予定のゼロ系新幹線を2階に設置することについて、工事費、移動の容易さ、地震時における安全面などの点から反対意見が多く出されたため、当初予定を変更し、実施設計を執行する前に、基本設計を見直し検討を重ねた。検討の結果、ゼロ系新幹線を2階から1階へ移すことになり、これに伴い、施設のレイアウト変更等の基本設計修正業務を行った。基本設計修正業務の完了を経て、その後、平成29年11月より実施設計業務を開始した。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 健都ルールサイド公園を一体化した健康づくりの取組を進めるために市が関与すべき事業であり、長年、図書館利用不便地域であった岸部地域にようやく図書館を整備できることから、本事業の実施意義はあるものと考えられる。</p> <p>(4)公平性 図書館不便地域であった岸部地域に整備される図書館であるが、施設利用対象者は市内全域の在住・在勤・在学者であり、平成29年(2017年)7月より開始した北摂地区全域での公立図書館の広域利用サービスも利用できるため、不特定多数の対象にサービスを提供できる事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)